

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 5 月 2 日(2022.5.2)

【公開番号】特開 2021-74187(P2021-74187A)

【公開日】令和 3 年 5 月 20 日(2021.5.20)

【年通号数】公開・登録公報 2021-023

【出願番号】特願 2019-201965(P2019-201965)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

【FI】

A 63 F 7/02 326Z

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 4 月 21 日(2022.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主制御基板と、

前記主制御基板にハーネスを介して接続される複数の機器中継基板と、

前記主制御基板又は前記機器中継基板にハーネスを介して接続された複数の入出力装置と、
を備え、

前記主制御基板は、接続中継基板とハーネスを介して試験装置に接続可能であり、

前記複数の機器中継基板は、少なくとも第 1 中継基板と、第 2 中継基板と、第 3 中継基板と、
を有する遊技機において、

前記遊技機は、

30

前記主制御基板と前記第 1 中継基板とをハーネスを介して接続する第 1 接続経路と、

前記第 1 中継基板と前記第 2 中継基板とをハーネスを介して接続する第 2 接続経路と、

前記主制御基板と前記第 3 中継基板とをハーネスを介して接続する第 3 接続経路と、
を有し、

前記主制御基板は、前記第 1 接続経路を介して、前記複数の入出力装置に含まれる出力装置への出力信号を出力し、
前記第 3 接続経路を介して、前記複数の入出力装置に含まれる入力装置からの入力信号を入力し、

前記第 1 中継基板は、前記複数の入出力装置に含まれる特定の入出力装置に対して前記主制御基板から出力された出力信号に基づく駆動信号を前記第 2 中継基板に前記第 2 接続経路を介して出力し、

40

前記主制御基板は、前記第 1 接続経路を流れる前記出力信号と、前記第 3 接続経路を流れる前記入力信号と、
を中継するように前記接続中継基板がハーネスを介して接続されることで、前記出力信号及び前記入力信号に基づいた試験信号を前記試験装置と入出力可能となり、

前記第 1 中継基板から前記主制御基板に出力される信号は、前記駆動信号に応じて前記特定の入出力装置から出力する信号を含み、
前記第 3 接続経路を経由し、

前記主制御基板には、前記主制御基板の一辺側に破線で囲われた位置に、試験信号を前記接続中継基板に出力するために実装可能な主制御試験信号出力回路を配置する実装パターンが備えられ、

前記接続中継基板は、

50

特別役物の作動状態を表す特別役物中信号と、
遊技媒体の投入が可能な状態で駆動する投入要求ランプの駆動状態を表す投入要求ランプ
信号と、を前記試験装置に出力可能であり、
前記主制御基板は、
前記特別役物の作動となる遊技の前記投入要求ランプ信号がオンになるタイミングまでに
前記特別役物中信号をオンにし、
前記特別役物の作動が終了した遊技の次の遊技に対して前記投入要求ランプ信号をオンに
するタイミングよりも前に前記特別役物中信号をオフにする
ことを特徴とする遊技機。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

20

従来、中継基板を介して主制御基板を試験装置に接続可能な遊技機が特許文献 1 に提案さ
れている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【特許文献 1】特開 2 0 0 3 - 2 1 0 7 9 6 号公報

【手続補正 5】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上述したような従来の遊技機のように、遊技機と試験装置とを接続する場合、中継基板を
介して接続するのが一般的だが、遊技性等の遊技機の仕様に応じた中継基板を用意する必
要がある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

40

本発明は、遊技機の仕様が変わったとしても、中継基板を変更することなく、また、最低
限の変更により試験装置と接続することが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明に係る遊技機は、
主制御基板（主制御基板 7 1）と、
前記主制御基板にハーネスを介して接続される複数の機器中継基板（キャビネット側中継基板 4 4、ドア中継端子板 6 8、リール中継端子板 7 4）と、
前記主制御基板又は前記機器中継基板にハーネスを介して接続された複数の入出力装置（入出力装置 4 0 1 等）と、を備え、
前記主制御基板は、接続中継基板（I F 1）とハーネスを介して試験装置（試験機 4 0 2）に接続可能であり、
前記複数の機器中継基板は、少なくとも第 1 中継基板（キャビネット側中継基板 4 4）と、第 2 中継基板（リール中継端子板 7 4）と、第 3 中継基板（ドア中継端子板 6 8）と、を有する遊技機において、
前記遊技機は、
前記主制御基板と前記第 1 中継基板とをハーネスを介して接続する第 1 接続経路と、
前記第 1 中継基板と前記第 2 中継基板とをハーネスを介して接続する第 2 接続経路と、
前記主制御基板と前記第 3 中継基板とをハーネスを介して接続する第 3 接続経路と、を有し、
前記主制御基板は、前記第 1 接続経路を介して、前記複数の入出力装置に含まれる出力装置への出力信号を出力し、前記第 3 接続経路を介して、前記複数の入出力装置に含まれる入力装置からの入力信号を入力し、
前記第 1 中継基板は、前記複数の入出力装置に含まれる特定の入出力装置（各リール 3 L、3 C、3 R の各第 1 ～ 第 3 ステッピングモータ 4 0 4 L ～ 4 0 4 R 及び各第 1 ～ 第 3 インデックスセンサ 4 0 5 L ～ 4 0 5 R）に対して前記主制御基板から出力された出力信号に基づく駆動信号を前記第 2 中継基板に前記第 2 接続経路を介して出力し、
前記主制御基板は、前記第 1 接続経路を流れる前記出力信号と、前記第 3 接続経路を流れる前記入力信号と、を中継するように前記接続中継基板がハーネスを介して接続されることで、前記出力信号及び前記入力信号に基づいた試験信号を前記試験装置と入出力可能となり、
前記第 1 中継基板から前記主制御基板に出力される信号は、前記駆動信号に応じて前記特定の入出力装置から出力する信号を含み、前記第 3 接続経路を経由し、
前記主制御基板には、前記主制御基板の一辺側に破線で囲われた位置に、試験信号を前記接続中継基板に出力するために実装可能な主制御試験信号出力回路（G A T E 1 ～ 3、コネクタ C N 1 0 0）を配置する実装パターンが備えられ、
前記接続中継基板は、
特別役物の作動状態を表す特別役物中信号と、
遊技媒体の投入が可能な状態で駆動する投入要求ランプの駆動状態を表す投入要求ランプ信号と、を前記試験装置に出力可能であり、
前記主制御基板は、
前記特別役物の作動となる遊技の前記投入要求ランプ信号がオンになるタイミングまでに前記特別役物中信号をオンにし、
前記特別役物の作動が終了した遊技の次の遊技に対して前記投入要求ランプ信号をオンにするタイミングよりも前に前記特別役物中信号をオフにする構成を有する。

10

20

30

40

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

50

本発明は、遊技機の仕様が変わったとしても、中継基板を変更することなく、また、最低限の変更により試験装置と接続することが可能な遊技機を提供することができる。

10

20

30

40

50